



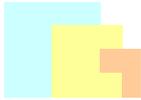
独立行政法人国立美術館

# 国立西洋美術館概要

Independent Administrative Institution  
National Museum of Art

THE  
NATIONAL  
MUSEUM  
OF  
WESTERN  
ART  
2010

平成22年



## 概要

国立西洋美術館はフランス政府から寄贈返還された松方コレクション(印象派の絵画及びロダンの彫刻を中心とするフランス美術コレクション)を基礎に、西洋美術に関する作品を広く公衆の観覧に供する機関として、昭和34年4月に発足しました。以来、広く西洋美術全般を対象とする唯一の国立美術館として、展覧事業を中心に、西洋美術に関する作品及び資料の収集、修復保存、調査研究、教育普及、出版物の刊行等を行ってきました。

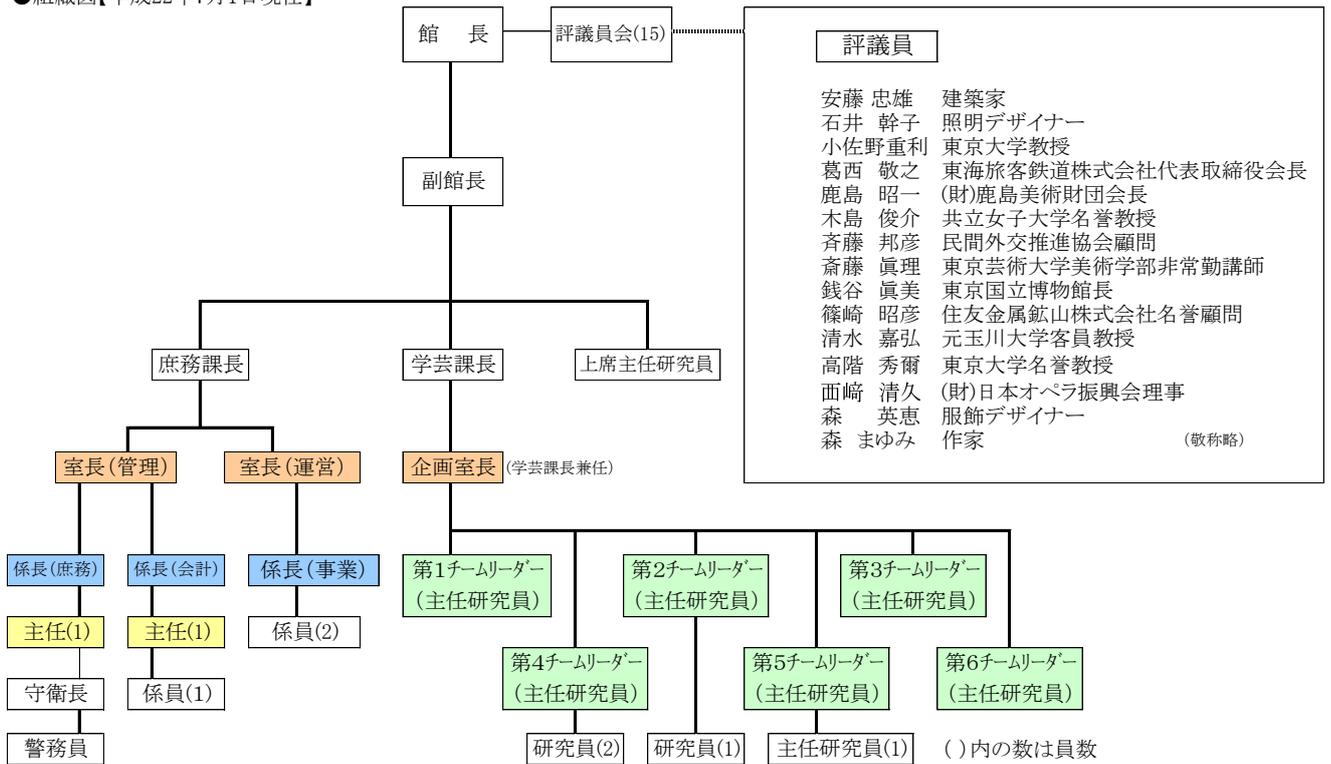
そして、平成13年4月からは国立美術館各館が統合して独立行政法人国立美術館が発足し、国立西洋美術館は独立行政法人国立美術館が設置する美術館の1つとなりました。

## 沿革

- |             |     |   |
|-------------|-----|---|
| 1951(昭和26)年 | 4月  | 株式会社川崎造船所の社長であった故松方幸次郎氏が、大正5年から十数年に渡りヨーロッパ各地で集めた絵画、彫刻等いわゆる松方コレクションは、サンフランシスコ平和条約により、連合国の管理下にある日本国民の財産として、フランス政府の所有に帰した。 |
| 1953(昭和28)年 | 6月  | フランス大使から外務大臣あてに覚書が提出され、日本側が東京にフランス美術館を創設することが、コレクション返還の不可欠の条件である旨の要望があった。   |
|             | 12月 | 「松方コレクション受入れについて」の閣議了解がなされ、日本政府において「フランス美術館」(仮称)を設置することとし、その準備を進めることとなった。これより文部省に「フランス美術館」(仮称)設置準備協議会が置かれた。             |
| 1959(昭和34)年 | 1月  | フランス政府―日本政府間の松方コレクション寄贈返還の正式調印がなされた。  |
|             | 3月  | 国立西洋美術館建物が落成した。   |
|             | 4月  | 文部省設置法の施行により国立西洋美術館が設置された。  |
|             | 6月  | 開館式、一般公開を行った。   |
| 1964(昭和39)年 | 7月  | 講堂、事務庁舎が竣工した。   |
| 1968(昭和43)年 | 6月  | 文部省設置法の一部改正(文化庁の設置)により、国立西洋美術館は文化庁附属機関となった。   |
| 1979(昭和54)年 | 5月  | 新館が竣工した。  |
| 1984(昭和59)年 | 7月  | 文部省設置法の一部改正により、国立西洋美術館は、文化庁の施設等機関となった。  |
| 1997(平成9)年  | 12月 | 企画展示館が竣工した。   |
| 1998(平成10)年 | 3月  | 本館耐震改修(免震化)等工事が竣工した。  |
|             | 4月  | 本館・新館がリニューアル・オープンした。  |
| 2000(平成12)年 | 3月  | 新館第三展示室(版画素描室)改修工事が竣工した。  |
| 2001(平成13)年 | 4月  | 独立行政法人国立美術館法に基づき独立行政法人国立美術館が発足し、国立西洋美術館は独立行政法人国立美術館が設置する美術館となった。  |
| 2002(平成14)年 | 3月  | 研究資料センターを開設した。  |
| 2007(平成19)年 | 9月  | 本館が国の世界遺産暫定一覧表に記載された。   |
|             | 9月  | 本館の世界遺産推薦書(暫定版)がユネスコ世界遺産センターに提出された。   |
|             | 12月 | 本館が国の重要文化財に指定された。   |
| 2008(平成20)年 | 1月  | 本館がユネスコ世界遺産に推薦されることが決定した。   |
|             | 2月  | 本館の世界遺産推薦書がユネスコ世界遺産センターに提出された。  |
| 2009(平成21)年 | 2月  | 新館空気調和設備その他工事(建築・電気設備・機械設備)が竣工した。   |
|             | 6月  | 新館がリニューアル・オープンした。   |
|             | 6月  | 開館50周年記念式典を挙行了した。   |
|             | 6月  | 第33回世界遺産委員会において「情報照会」の決議が採択された。   |

# 組織

●組織図【平成22年7月1日現在】



●職員数【平成22年7月1日現在】

特別職	一般職							計	労務職	研究職				計	合計
	館長	副館長	課長	室長	係長	主任	係員			労務職員	首席主任研究員	課長	主任研究員		
1	1	1	2	3	2	3	12	2	1	1	7	3	12	27	

# 予算

(単位:千円)

区分・事項	平成21年度	平成22年度	区分・事項	平成21年度	平成22年度
収入			支出		
運営費交付金	662,616	648,385	一般管理費	210,568	195,583
自己収入相当(入場料等収入)	167,590	169,266	展示事業費	442,893	421,351
作品購入費留保分	0	0	調査研究事業費	62,566	71,211
作品購入費留保分	△ 28,053	△ 27,764	教育普及事業費	81,693	96,429
再雇用職員給与等	△ 4,433	△ 5,313			
計	797,720	784,574	計	797,720	784,574

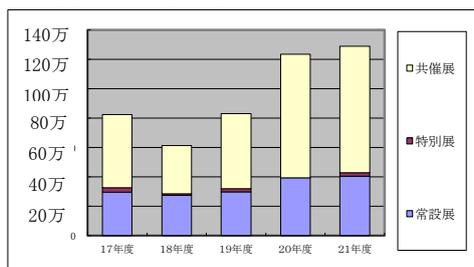
※人件費は除く。

# 入館者数

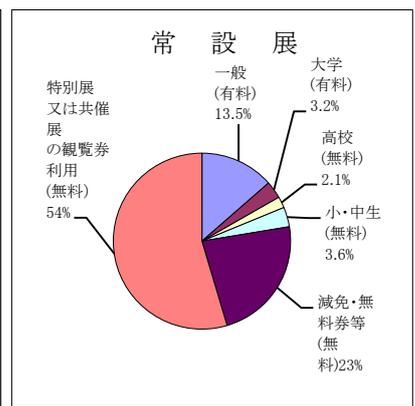
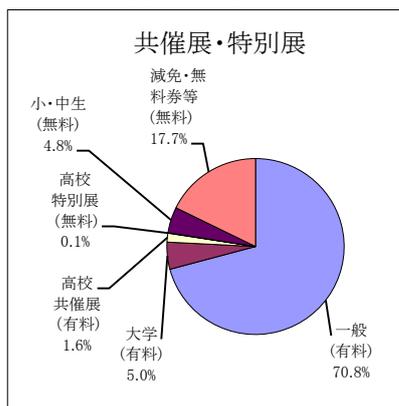
●年度別入館者数推移

(単位:人)

●平成21年度入館者内訳



	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
常設展	295,178	273,421	297,437	394,300	404,681
特別展	30,176	11,881	21,551	-	23,653
共催展	498,982	327,028	511,850	840,830	859,867
合計	824,336	612,330	830,838	1,235,130	1,288,201



## 展覧会等

### ●展覧会の開催

当館では、創立当初からの松方コレクション(印象派の絵画及びロダンの彫刻を中心とするフランス美術のコレクション)及び毎年収集している中世末期から20世紀初頭までの西洋美術に関する作品を収蔵し、これらの絵画、素描、版画、彫刻や工芸から150～200点の作品を選び、常設展として西洋美術の流れが概観できるような展示を行っています。

また、欧米の美術館からの借用作品により、当館の自主的な特別展を年1回、さらに新聞社等との共催展を年2回程度開催しています。

### 展覧会 平成21年度実績

種別	展覧会名	開催期間	開催日数(日)	共催者	総入場者数(人)	一日平均(人)
常設展	「ルネサンス以降のヨーロッパ近代絵画」 「近・現代絵画と彫刻」	平成21.4.1～平成22.3.31 展示替回数 4回	280	-	404,681	1,445
小企画展 (常設展と併設)	ル・コルビュジエと国立西洋美術館	平成21. 6. 4 ～ 8.30	77	-	-	-
	ローマ 未来の原風景 by HASHI	平成21. 9.19 ～ 12.13	75	-	-	-
	ルネサンスから近代までの肖像	平成22. 1. 9 ～ 2.14	32	-	-	-
	所蔵水彩・素描展 - 松方コレクションとその後	平成22. 2.23 ～ 3.31	32	-	-	-
特別展	かたちは、うつる — 国立西洋美術館所蔵版画展	平成21. 7. 7 ～ 8.16	37	-	23,653	639
共催展	ルーヴル美術館展 — 17世紀ヨーロッパ絵画 —	平成21. 4. 1 (平成21.2.28～) ～ 6.14	66 (全93)	日本テレビ 読売新聞社	634,498 (全851,256)	9,614
	古代ローマ帝国の遺産 — 栄光の都ローマと悲劇の街ポンペイ —	平成21. 9.19 ～ 12.13	75	東京新聞 NHK	195,477	2,606
	フランク・ブラングイン展	平成22. 2. 23 ～ 3.31	32	読売新聞社	29,892	934

### 展覧会計画 平成22年度

種別	展覧会名	開催期間	開催日数(日)	共催者
常設展	「ルネサンス以降のヨーロッパ近世絵画」 「近・現代絵画と彫刻」	平成22.4.1～平成23.3.31	310	-
小企画展 (常設展と併設)	所蔵水彩・素描展 - 松方コレクションとその後	平成22. 4. 1 ～ 5.30	53	-
	オノレ・ドームエ版画展 — 『カリカチュール』と初期の政治諷刺画 —	平成22. 6.26 ～ 9. 5	63	-
	19世紀フランス版画の闇と光 — メリヨン、ブレダン、ブラックモン、ルドン	平成22. 9.18 ～ 11.28	55	-
	アウトサイダーズ	平成22.12. 7 ～ 2.13	55	-
	オールド・マスター版画展Ⅱ(仮称)	平成23. 3.12 ～ 3.31	17	-
特別展	アルブレヒト・デューラー版画・素描展 宗教/肖像/自然	平成22.10.26 ～ 23. 1.16	67	朝日新聞社 (名義共催)
共催展	フランク・ブラングイン展	平成22. 4. 1 ～ 5.30	53	読売新聞社
共催展	ナポリ・宮廷と美 — カポディモンテ美術館展 ルネサンスからバロックまで	平成22. 6. 26 ～ 9.26	81	TBSテレビ 東京新聞
共催展	レンブラント:光の探求/闇の誘惑	平成23. 3.12 ～ 3.31 (6.12)	17 (全81)	日本テレビ 読売新聞社

# 所蔵美術作品等

## ●作品の収集と保管

当館では、フランス政府との協定に基づき保管と公開を行なっていることから、松方コレクションの充実と中世末期から20世紀初頭に至る西洋美術の絵画等の収集、また各時代を展望し得るヨーロッパ版画の系統的な収集をしています。

### (1) 所蔵作品

(平成22年3月31日現在)

区分 種類	設立時の 松方 コレクション	購入	寄贈	管理換	計	寄託	合計	21年度 増減数
絵画	196	115 (+1)	57	7	375 (+1)	14	389	1
素描	80	20	35	1	136	22	158	0
版画	26	3,572 (+33)	214	0	3,812 (+33)	0	3,812	33
彫刻	63	13	25	0	101	0	101	0
工芸	0	1	9	0	10	0	10	0
書籍	0	49	4	0	53	0	53	0
参考作品等	5	87	21	0	113	0	113	0
計	370	3,857 (+34)	365	8	4,600	36	4,636	34

( )は平成21年度購入及び寄贈作品数

## ●資料の収集

当館では、1959(昭和34)年の設立以来50年以上にわたって展覧会企画や西洋美術史研究のために文献資料を収集してきました。これらの資料を館内外の美術館職員、研究者に公開し、わが国における西洋美術研究及び美術館活動の振興に資することを目的として、2002(平成14)年3月15日に研究資料センターが開設されています。

同センターでは西洋美術に関する資料を対象に収集、整理を行っています。特に中世から20世紀前半までの時代に重点を置き、欧米各地で開催された展覧会のカタログや芸術家の個別研究等、学術刊行物の収集に努めています。蔵書数は現在、図書約42,000冊、逐次刊行物延べ約1,400タイトル、マイクロ資料約35タイトルを数えます。

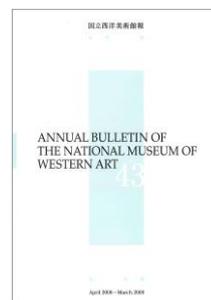
### (2) 所蔵資料

(平成22年3月31日現在)

区分	種類	数量	
図書	和書	9,965 冊	
	洋書	32,628 冊	
	計	42,593 冊	
逐次刊行物	和逐次刊行物	23,448 冊	
	洋逐次刊行物	32,471 冊	
	計	55,919 冊	
写真資料	写真原版	13,172 枚	
	マイクロ資料	フィッシュ	19 タイトル 70,330 枚
		フィルム	16 タイトル 357 本

## ●調査研究

当館では、所蔵作品に関する調査研究を恒常的に行っています。また、各研究員がそれぞれ専攻する分野の課題についても調査研究を行っています。(詳細については『国立西洋美術館報』及び『国立西洋美術館研究紀要』を参照)



《国立西洋美術館報》



《国立西洋美術館研究紀要》

## 教育普及事業

### ●講演会・出版等の活動

当館では、それぞれの特別展及び共催展にちなんだ講演会、ギャラリートーク、スライドトークやコンサート等を定期的に行っています。夏休みには小学生を対象とした創作・体験プログラム等も開催しています。

また、出版活動として各特別展及び共催展の開催に伴い、展覧会カタログを出版しています。この他に、年4回刊行している国立西洋美術館ニュース『ゼフェロス』、研究紀要や所蔵品図録等を刊行しています。

事業名	タイトル等	概要
常設展関連プログラム	美術トーク	日曜日にボランティアスタッフが常設展作品を数点選び解説
	建築ツアー	第2、第4日曜日に世界的建築家ル・コルビュジエ設計の本館建物や前庭を巡りボランティアスタッフが解説
	クリスマス・プログラム	クリスマスにあわせて、クリスマスに関係のある作品を楽しむプログラムやコンサートを実施
ファミリープログラム	びじゅつーる	第2・第4土曜日に家族向け常設展示作品の鑑賞用教材を無料貸与
	どうびじゅつ	第2・第4土曜日に行う常設展示作品の鑑賞と創作等の体験がセットになったプログラム
学校関連プログラム	スクール・ギャラリートーク	小・中・高校生等に対してボランティアスタッフが行う予約制の常設展示作品の鑑賞プログラム
	オリエンテーション	大人数の団体を対象に、講堂で常設展又は特別展について解説を行う予約制のプログラム
	職場訪問	修学旅行や総合学習の一環でグループで来館する生徒を対象に、美術館や学芸員の仕事に対する質問に対応
	先生のための鑑賞プログラム	特別展ごとに小・中・高校の教員を対象に、講堂で展覧会の趣旨や主な作品について展覧会担当者が解説
企画展関連プログラム	講演会	講堂で企画展のテーマにあわせた講演を実施
	スライドトーク	夜間開館時に講堂でスライドにより展覧会の見どころを解説
	コンサート	企画展会場ロビー等で企画展にちなんだ音楽を演奏
	障がい者のための鑑賞プログラム	閉館時間後に招き、展覧会概要の説明の後、自由鑑賞
ボランティアによる活動	研修を積んだボランティアスタッフにより、ファミリープログラムやスクール・ギャラリートークを中心とした活動を実施	
インターンシップ	大学院生以上を対象として、当館職員のもと、所蔵作品の調査、展覧会や教育プログラムの企画補助など、各々が希望する専門分野に分かれて行う実務研修	
他組織との連携	高校などの課外授業への協力、小・中学教員による研究団体との研修企画	
出版物	国立西洋美術館ニュース「ゼフェロス」	当館展覧会や教育プログラムなどの活動を広報する季刊誌
	展覧会図録	各企画展ごとに作成
	国立西洋美術館報	作品収集、展覧会、調査研究、教育普及、情報資料の収集・発信、保存修復等の活動報告を収録した年報
	国立西洋美術館研究紀要	当館研究員の研究論文等を収録した定期刊行物(年1回)
	国立西洋美術館「リーフガイト」(日・英・韓・中)	観覧者向けの当館利用案内パンフレット
	建築探検マップ	ル・コルビュジエが設計した本館建築の特徴を解説したパンフレット
	ジュニア・パスポート	企画展の入場券を兼ねた小中学生対象の展覧会ガイド
	展示作品リスト	企画展及び常設展の無償配布の作品リスト

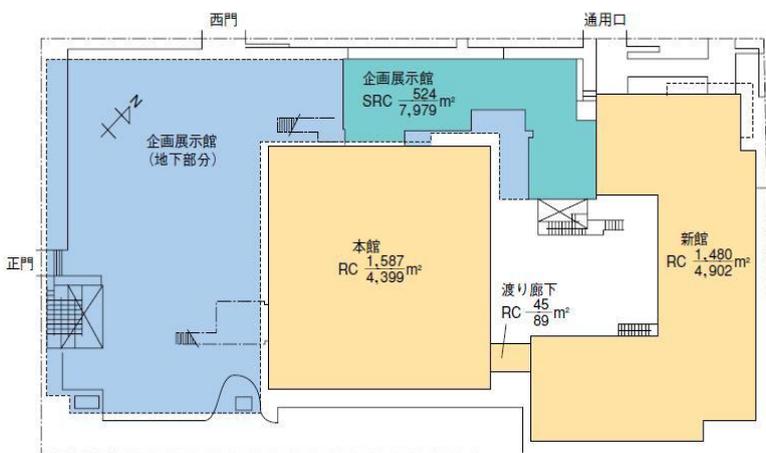
# 施設

## ●土地

区分	面積	摘要
所有地	2,208 m <sup>2</sup>	昭和42,43年度に寛永寺所有地を購入
借用地	7,080 m <sup>2</sup>	東京都より有償借用
計	9,288 m <sup>2</sup>	

## ●建物

区分	構造・階数	竣工	面積		摘要
			建築	延床	
本館	RC・地上3階・地下1階	昭34.2.28	1,587 m <sup>2</sup>	4,399 m <sup>2</sup>	展示室 1,533 m <sup>2</sup>
新館	RC・地上2階・地下2階	昭54.5.31	1,480 m <sup>2</sup>	4,902 m <sup>2</sup>	展示室 1,525 m <sup>2</sup> 収蔵庫 676 m <sup>2</sup>
渡り廊下	RC・地上2階	昭54.5.31	45 m <sup>2</sup>	89 m <sup>2</sup>	
企画展示館	SRC・地上2階・地下4階	平9.12.25	524 m <sup>2</sup>	7,979 m <sup>2</sup>	展示室 1,362 m <sup>2</sup> 収蔵庫 421 m <sup>2</sup>
計			3,636 m <sup>2</sup>	17,369 m <sup>2</sup>	展示室 4,420 m <sup>2</sup> 収蔵庫 1,097 m <sup>2</sup>



●当館本館は、戦後、日仏間の国交回復・関係改善の象徴として、20世紀を代表する建築家のひとりであるフランス人建築家ル・コルビュジエの設計により、1959(昭和34)年3月に竣工した歴史的建造物です。1998(平成10)年には地震に強い建物とするために、基礎部分に免震装置を取り付ける「免震レトロフィット」と呼ばれる改修工事を完成させています。また、1998(平成10)年に建設省(当時)より「公共建築百選」に選定され、2007年(平成19)年には「国の重要文化財(建造物)」に指定されています。

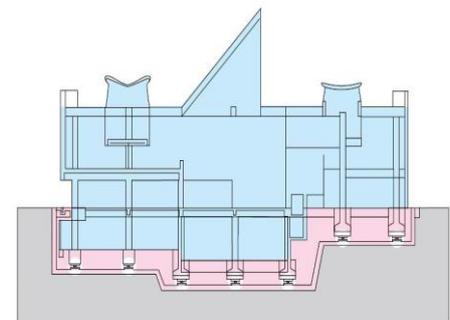


企画展示室

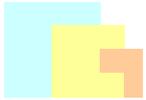
本館展示室

新館展示室

## 免震化



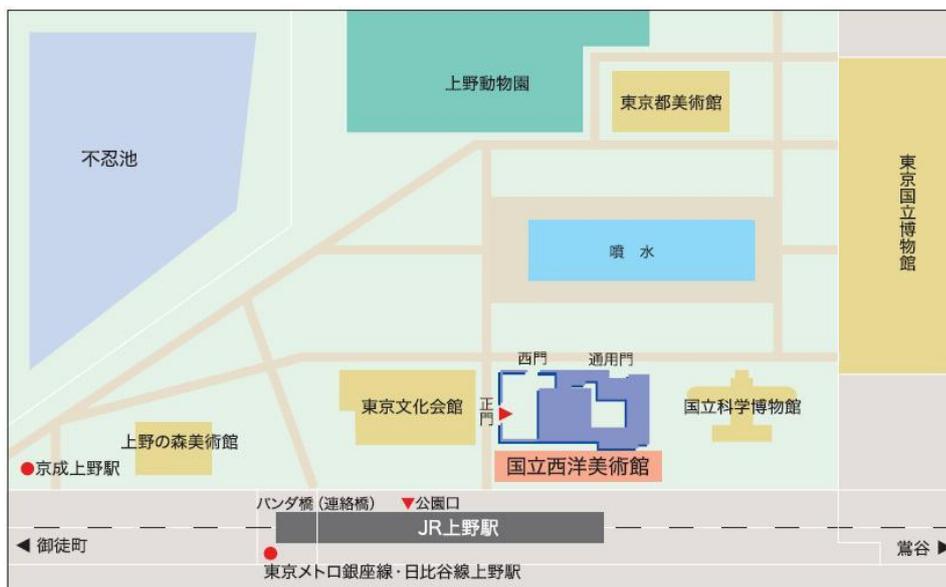
本館



## 国立西洋美術館案内

- 所在地 : 東京都台東区上野公園7番7号 (〒110-0007)
- 電話 : 03(3828)5131 FAX:03(3828)5135 ハローダイヤル: 03(5777)8600
- 開館時間 : 春の企画展開催日から秋の企画展閉会日までの期間＝午前9時30分～午後5時30分  
(上記以外は午前9時30分～午後5時)  
毎週金曜日＝午前9時30分～午後8時  
入館は閉館時刻の30分前まで
- 休館日 : 毎週月曜日  
(ただし、月曜日が祝日又は祝日の振替休日となる場合は開館し、翌日の火曜日が休館)  
年末年始 (12月28日から翌年1月1日まで)  
その他臨時に開館・休館することがあります。
- 常設展無料観覧日 : 毎月第2・第4土曜日及び文化の日(11月3日)
- 常設展観覧料 : 一般 / 420 (210) 円 大学生/130(70)円 ( )内は20名以上の団体料金です。  
※ 高校生以下及び18歳未満, 65歳以上の方は無料です。  
※ 高校生には, 高等専門学校の1～3年生までの学生を含み, 大学生には高等専門学校の4, 5年生又はこれらに準ずる者を含みます。  
※ 障害者手帳をお持ちの方(付添者は原則1名まで)は無料です。  
※ 共催展、特別展の観覧料は展覧会ごとに別に定めます。  
※ 国立美術館キャンパスメンバーズは常設展を無料とし、特別展及び共催展は団体料金を適用します。
- 交通案内 : JR上野駅下車(公園口出口)徒歩1分  
京成電鉄上野駅下車徒歩7分  
東京メトロ銀座線、日比谷線上野駅下車徒歩8分

### ○位置図



- ホームページ <http://www.nmwa.go.jp/>